

# 決算特別委員会

委員長 澤本 長俊

## 令和2年度 一般会計歳入歳出決算

令和2年度の一般会計決算は、歳入決算額361億343万円、歳出決算額351億4960万円となり、歳入歳出差引額は9億5383万円で、翌年度へ繰り越すべき財源9874万円を控除した実質収支額は8億5508万円となりました。歳入決算額を財源別にみると、自主財源が98億6952万円、歳入全体の27.3%、依存財源が262億3390万円、歳入全体の72.7%を占めています。前年度比は73億131万円の増で25.3%の増加率となりました。その主な要因としては、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による

国庫支出金が大幅に増加したことによるものです。

歳出決算額の主な款別執行額は、総務費90億9678万円、民生費82億9208万円、教育費33億9205万円となりました。前年度比は70億7061万円の増で25.2%の増加率となりました。その主な要因としては、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金や子育て世帯への臨時特別給付金、ICT教育機器整備事業等によるものです。

決算審査に当たっては、予算執行の結果や行政効果を客観的に検証し、今後の予算編成や財政運営に活かされるよう審査を行いました。

### 採決の結果

議第65号は「可決および認定すべきもの」その他8議案は「認定すべきもの」と決定しました。

## 本会議での討論

**議第60号 令和2年度  
高島市一般会計歳入歳出決算  
の認定について**

**反対**

福井 節子議員

小規模保育所建設予算は、事業進捗なく不用額に。マキノ北小の事業も報告なし。後継ごみ処理施設整備では、情報公開請求に不服審査で約80箇所が開示された。市民的に公平性と透明性が担保された市政運営か判断した。

**賛成**

是永 宙議員

新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策などにより歳出決算総額は350億円を超え、市政発定後、最大の決算額となった。予算執行については概ね適切な執行で、事業の効果も確認できた。



**議第63号 令和2年度  
高島市介護保険事業特別会計  
歳入歳出決算の認定について**

**反対**

森脇 徹議員

特養80床増での介護保険料を徴収した年度。29床は開所したが、市が認定した法人50床は建設なく、議会に中止の報告もない決算。約180人待機家族の期待にこたえず、介護職志望した青年にも影響を与えた年度だ。

**賛成**

磯部 亜希議員

令和2年度は第7期介護保険事業計画の最終年度であり、「地域包括ケアシステム」の推進、高齢者の自立支援、地域共生社会の実現に向けての取り組みがされ、コロナ禍において必要な介護サービスの継続もされたことから賛成する。

